

研究課題 当院におけるボノプラザン導入後の *Helicobacter pylori* 除菌療法に関する検討

研究期間

データ収集期間 2015年 4月1日 ~ 2018年 7月31日

データ分析期間 2018年10月1日 ~ 2019年 9月30日

研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科

目的

ヘリコバクター・ピロリ (*Helicobacter pylori* (*H.pylori*)) 除菌治療において2015年2月に保険承認された新しい酸分泌抑制薬であるボノプラザン (VPZ) はこれまでのプロトンポンプ阻害 (PPI) より胃酸分泌抑制効果が高いとされています。*H.pylori* 菌の除菌にはランソプラゾール (LPZ) やラベプラゾール (RPZ) などの胃酸分泌抑制薬と抗生物質を組み合わせた除菌薬が用いられてきましたが、VPZを用いた除菌療法はこれまでの酸分泌抑制薬と比較して、高い除菌成功率が期待されています。そこで今回私たちは *H.pylori* 除菌治療の成績を VPZ と既存薬 (LPZ または RPZ) とで比較し、実臨床における有効性を確認すること、また、治療の経済学的視点から費用対効果を検証することを本研究の目的とします。

方法

2015年4月1日~2018年7月31日までの間に当院にてヘリコバクター・ピロリ菌が陽性であり、除菌治療を実施、効果判定が可能であった患者さんを調査対象として、除菌成功率、基本情報 (年齢、性別等) を調査し、統計学的手法にて分析します。

意義

VPZ を用いた除菌率を既存薬と比較し、その有効性を明らかにすることによって、より除菌成功率の高い薬剤選択が可能になり、かつ費用対効果を検証することによって経済的にも有効な治療を確立するための有用な情報になると考えられます。

個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから身体所見に関するデータおよび治療状況に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果をインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後5年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会に発表することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。当院倫理審査委員会の承認を得ます。

問い合わせ等の連絡先

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科 長生 幸司

住所：564-8567 吹田市岸部新町5-7 電話番号：06-6387-3311